改定年月		変更内容					
以及平月	変更項目	変更箇所	変更前	変更後	変更理由		
	第3章 施策展開の方向性 I 安全・安心を身近に 感じて暮らせるまち (1)災害に備えて	16ページ 目安とする指標	・地域住民の防災意識が以前より高まったと感じていると回答した区民の割合*:令和8年度(2026年度)末までに60%以上	・防災訓練や研修会等への地域 の参加者数 :毎年1,000人以上	防災力を高めるためには、防災 意識を持った地域住民や区職員 を増やすことが重要である。地 域住民については、当区で実施 する防災に関する研修や訓練、 出前講座などへの参加を促し、 参加実績を毎年一定数以上に保 つことを評価指標とする。		
令和6年10月		16ページ 目安とする指標	・地域住民同士の協力により、「自分たちの地域は自分たちで守る」ための取組がされていると感じると回答した区民の割合・ ・令和8年度(2026年度)末までに60%以上	・生野区災害想定訓練実施により「地域の防災力が向上した」 と回答した区職員の割合 :毎年80%以上	防災力を高めるためには、防災 意識を持った地域住民や区職員 を増やすことが重要である。区 職員については、生野区災害想 定訓練の実施を通じて、防災に 関する理解を深めることとし、 その理解度を毎年一定割合に保 つことを評価指標とする。		
		16ページ 目安とする指標	_	・防災の次世代を担うジュニア 災害リーダー (JDL) がいる地 域数 :令和8年度(2026年度)末ま でに19地域	評価指標の追加。		

改定年月	変更内容					
以及平月	変更項目	変更箇所	変更前	変更後	変更理由	
	第3章 施策展開の方向性 I 安全・安心を身近に感 じて暮らせるまち (1)災害に備えて	16ページ 目安とする指標		・特定空家等の是正件数 :毎年20件以上	評価指標の追加。	
令和6年10月	第3章 施策展開の方向性 I 安全・安心を身近に・ 感じて暮らせるまち (2)犯罪・事故の防止 に向けて	19ページ 目安とする指標	・地域住民の防犯への取組が地域の安全につながっていると感じると回答した区民の割合*:令和8年度(2026年度)末までに70%以上	削除	犯罪防止及び事故防止の取組に 関する指標は5つと多く設定されているため、内容を再度精 査。取組効果については、発生 件数の減少から読み取ることが できるため、区民への意識調査 を対象とした2指標については 削除する。	
		19ページ 目安とする指標	・自転車交通マナー向上に向け た取組の効果があると感じると 回答した区民の割合* :令和8年度(2026年度)末ま でに50%	削除	犯罪防止及び事故防止の取組に 関する指標は5つと多く設定されているため、内容を再度精 査。取組効果については、発生 件数の減少から読み取ることが できるため、区民への意識調査 を対象とした2指標については 削除する。	

改定年月		変更内容					
以是平月	変更項目	変更箇所	変更前	変更後	変更理由		
		23ページ 目安とする指標	・ご自身が困っていること、悩んでいること、または不安なことを誰かに相談できると回答した区民の割合* :令和8年度(2026年度)末までに75%以上	・福祉コーディネーターの当年 度相談受付件数 : 前年度実績以上	福祉課題への解決及び支援を必要とする人の見守り等において、専門家かつ中心的役割を担う福祉コーディネーターへつなぐことが取組推進の一助となることから、福祉コーディネーターへの相談受付件数の増を指標とし、取組の効果を測る。		
			・ご自身が困っていること、悩んでいること、または不安なことを誰かに相談できると回答した区民の割合* :令和8年度(2026年度)末までに75%以上	・福祉コーディネーターの当年 度相談受付件数 : 前年度実績以上	福祉課題への解決及び支援を必要とする人の見守り等において、専門家かつ中心的役割を担う福祉コーディネーターへつなぐことが取組推進の一助となることから、福祉コーディネーターへの相談受付件数の増を指標とし、取組の効果を測る。		

改定年月		変更内容				
以及平月	変更項目	変更箇所	変更前	変更後	変更理由	
令和6年10月	第3章 施策展開の方向性 I 安全・安心を身近に 感じて暮らせるまち (5)すべての人々の人 権を互いに尊重し認め合 える環境づくり	27ページ 目安とする指標	をはじめとする多様な人々の人	スレ咸じる」レ同炊した割合	人権・多文化共生に関しては、 当区で実施する講座、事業など への参加を促し、参加者に向け てアンケートを行い、取組の効 果を測る。	
		27ページ 目安とする指標	・生野区は、外国につながる住民が地域住民の一員として安心して暮らすことができるまちであると感じると回答した区民の割合*:令和8年度(2026年度)までに60%以上	多文化共生関係事業の参加者アンケートで「生野区は外国につながる住民が日常的に地域社会	人権・多文化共生に関しては、 当区で実施する講座、事業など への参加を促し、参加者に向け てアンケートを行い、取組の効 果を測る。	

改定年月		変更内容					
以及平月	変更項目	変更箇所	変更前	変更後	変更理由		
	第3章 施策展開の方向性 Ⅱ にぎわいといろどり 豊かな魅力のあるまち (1)リノベーション× まちづくり	31ページ 目安とする指標	・生野区のまちに地域のにぎわいや活気が出てきたと回答した区民の割合* :令和8年度(2026年度)末までに:60%以上	・生野区内の地価公示価格(標準地)のうち4か所について、前年度よりの上昇をめざす 1 商業地(桃谷駅周辺) 2 商業地(近鉄今里駅周辺) 3 住宅地(北東部) 4 住宅地(南西部)	地域のにぎわい、活気について は、地価公示価格上昇により評 価を行う。		
令和6年10月	第3章 施策展開の方向性 Ⅱ にぎわいといろどり 豊かな魅力のあるまち (2)生野区シティプロ		・生野区のまちに愛着を感じ、 これからも住み続けたいと回答 した区民の割合* :令和8年度(2026年度)末ま でに60%以上	・「公民連携」を活用したまちの魅力PR及び情報発信等の回数 :毎年20回以上	シビックプライドの醸成や若年層の興味・関心をひくためには、企業や団体、インフルエンサーなどと協力して、PR及び情報発信を行うことが効果的であるため、連携して広報活動を行った回数を毎年一定数以上に保つことを評価指標とする。		
		・令和8年度(2026年度)末ま でに若年層の転出(転入)が前年 より減少(増加)する状態	・令和8年度(2026年度)末までに若年層の転出(転入)が前年より減少(増加)する状態 ※毎年4月1日現在推計人口 10代〜30代で比較	評価測定方法を追記。			

改定年月	変更内容					
以及千万	変更項目	変更箇所	変更前	変更後	変更理由	
		40ページ 目安とする指標	・子育てしやすいまちと感じる と回答した区民の割合* :令和8年度(2026年度)末ま でに60%以上	・子育てに関するイベント等でのアンケートで「イベントが子育てしやすいまちづくりに役立っていると感じる」と回答した割合 ・令和8年度(2026年度)末までに80%以上	子育て及び教育に関しては、取 組に関わる対象者に向けてアン ケートを行うこととし、取組み の効果を測る。	
令和6年10月	100 イムケ たわキリノ	44ページ 目安とする指標	・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦したいと思うと回答した児童・生徒の割合:令和8年度(2026年度)末までに70%以上	「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦したいと思う」と回答	文言の整理。令和5年度実績を 勘案し、目標値を引上げ。	
	第3章 施策展開の方向性 Ⅲ 子育てにやさしく、 教育につよいまち (2)未来を生き抜く力 の育成	44ページ 目安とする指標	・学校だけでなく、地域でさまざまな学習、体験や交流ができる機会があると感じると回答した区民の割合*:令和8年度(2026年度)末までに50%以上	ケートで「区の生涯学習事業で	子育て及び教育に関しては、取 組に関わる対象者に向けてアン ケートを行うこととし、取組み の効果を測る。	

改定年月	変更内容					
以是平月	変更項目	変更箇所	変更前	変更後	変更理由	
令和6年10月	第4章 施策の推進にあたって	47ページ 文章中	「市政改革プラン3.1」		「市政改革プラン3.1」につい ては令和5年度で終了となって いることから、文言を修正す る。	

^{*}区民アンケート等による